

平成27年度
地域の“まちづくりびと”養成講座
入門編

またまた大作戦 まちの育ちの育て方

第1回

『こんなまちづくりがいいな』

日程：平成27年11月28日（土）

時間：13時30分～17時00分

場所：愛知学院大学

名城公園キャンパス

11月28日の午後、北区の愛知学院大学名城公園キャンパスにて「平成27年度 地域の“まちづくりびと”養成講座 入門編」の第1回講座が開催されました。

今回の講座は、北区をモデル地区に、まちの魅力を発見し、カタチにして発信する企画を考える中で、ファシリテーションや合意形成のプロセスなどのまちづくりに必要な手法を学び、グループワークを通してまちづくりデザインを体験できる全4回の講座です。

この講座は名古屋都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」と北区役所、当センターで実行委員会をつくり、講座全体の企画・運営を行いました。また、講座全体のアドバイザー及び講師はNPO法人まちの縁側育くみ隊 事務局長の名畑恵さんです。

はじめに、主催者の挨拶とスタッフ紹介、配布資料の説明等を行い、講師の名畑さんよりまちづくりについてのガイダンスがあり、講座を開始しました。



第1回講座の時間割



講師の名畑恵さん

■幻燈会“こんなまちづくりがいいな”

講座のはじめということで、まずは受講生のみなさんにまちづくりの面白さを感じてもらうため、NPO法人まちの縁側育くみ隊 代表理事の延藤安弘さんをゲスト講師に迎え、幻燈会を行いました。延藤さんの幻燈会は、2つのスクリーンに本の一部やまちの縁側育くみ隊がまちづくりに参画している長野県や岐阜県での取組みの映像を映し出し、今回の講座内容を踏まえたまちづくりについてお話いただきました。受講生のみなさんは、物語のような映像と延藤さんのゆったりとした話術で作り出される幻燈会の世界に引き込まれ、楽しい幻燈会はあっという間に過ぎてしまいました。



ゲスト講師の延藤安弘さんと幻燈会の様子

■アイスブレイクをやってみよう！

進行役のまちづくりびとの進行により、初対面の受講生同士の緊張をほぐすとともにグループ分けを行うアイスブレイク「仲間集めゲーム」を行いました。受講生へ事前に渡してある名札に描かれた様々な絵を見て仲間を探すというものです。参加者全員が一斉に互いの絵柄を見せ合いながら、乗物グループや料理グループなど同じカテゴリの仲間を探し出しました。5つのグループをつくる予定が8グループになってしまいました。しかし、ここから5グループに分かれる仕掛けがありました。「桃（もも）」「鯛（たい）」「象（ぞう）」と同じ文字数の人達で集まると、見事5グループになりました。みなさんの楽しく参加され緊張がほぐれたようでした。



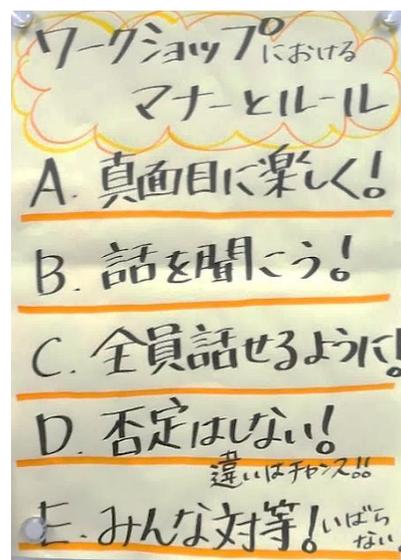
仲間集めゲームで使用した名札

■ワークショップ1「印象をわかちあおう」

アイスブレイクで決まったグループ毎にワークショップを体験しました。ワークショップとは、様々な人達が共同で作業をする場を言い、住民参加型のまちづくりにおける合意形成を得る際の手法として用いられています。そして講師からワークショップのマナーとルールが挙げられました。

■ワークショップのマナーとルール

- ・真面目にそして楽しく検討しましょう
- ・話を聞こう！相手への信頼の一步です
- ・全員が話せるように話はポイントをおさえて
- ・否定はしない。違いは新しい発見のチャンス！
- ・みんな対等！いばらない！



事前に渡された自己紹介カードへ氏名や幻燈会を見て共感したポイント、講座へ参加した理由などを記入し、1人1分でカードを利用して自己紹介をしました。グループファシリテーターのまちづくりびとは、受講生が自己紹介をした際に出たキーワードをふせんに書き出し、そのキーワードを活用しながらグループの紹介シートを作成し、意見を整理しました。



グループ紹介シート作成の様子

■ワークショップ2「こんなまちづくりがいいな」～ビジョンゲーム～

ビジョンゲームとは、お気に入りの写真を1人1枚選択し、テーマに対してグループの受講生それぞれの写真を合せて1つのストーリーをつくってくというものです。これはまちづくりを進める際に行う手法の1つで、各々の考えをまとめていく合意形成を体験することが出来ます。



ポスター作成の様子

まず、グループ内で役割分担を決めました。議論が円滑に進むように促す「進行役」、議論から出たアイデアなどを記録する「記録係」、完成・発表に向けて時間内に議論を終えるように管理する「時間係」の3つです。次に、まちの風景や子ども達が草木に触れている様子などの様々な写真の中から、こんなまちがいいなと思う写真を選び、選んだ理由を交えてグループ内で発表しました。そして選択された写真を並べ、理由が共通する点や写真を見て浮かんだアイデアなどの発想をもとにストーリーを組み立て、他グループが見ても分かりやすく、共感が得られるようなポスターを作成しました。

■発表

ワークショップにより作成したポスターの発表が行われました。即興演劇やポスターに面白い細工をするなど、個性あふれる発表となりました。



縁側大好きグループのワークショップ成果

「縁側大好きグループ」

「つながり」「交流の場」「えんがわ」「まちの宝物」のキーワードに興味を持っているグループ。ひとりでは寂しいけど、祭りや子ども達と掃除などを通して、多種多様な仲間づくりが出来る場所があるまちがいいな。

「きたにゃん」

“まちに人が来たニャン”をテーマに発表しました。「つながり」

「地域活動」「北区」「絵本」などに関心を持ったメンバーが集まったグループ。まちのお年寄りや子ども、いろんな人達が、どこでも楽しく集まれるまちがいいな。



きたにゃんのワークショップ成果



まちつかい倒し隊のワークショップ成果

「まちつかい倒し隊」

“まちを使い倒せ”をテーマに、欠点をお宝に変えるための見方を変え、意見が言えることを目指したグループ。まちにあるバスや使われていない蔵など、今あるものをみんなで使い倒していけるまちがいいな。



5班じゃないよ、ライスだよのワークショップ成果

「5班 (ごはん) じゃないよ、ライスだよ」

“キタッコの大冒険”をテーマにアイスブレイクで5文字の言葉で集まったメンバーは、北区のことを知ってほしい、北区を知りたい、子どもの視点を活かしたいというグループ。まちのみんなが猫とも協力する、優しく温かいまちがいいな。

「もやもやハッピー」

まちづくりのヒントや北区の魅力を再発見して、まちのもやもやをすっきりしてハッピーになりたいグループ。ビューティフルでメロウでスロウな場所をつくり、まちの魅力が再発見できて、もやもやしたトラブルが解決してハッピーになるまちがいいな。



もやもやハッピーのワークショップ成果

■まとめ

ゲスト講師の延藤さんより、発表を通じたまちづくりの数々の重要なキーワードを示しました。

- ひめいと危機を分かち合う
- とことん自由発想！ネコヒントも生かそう！
- ママツリ、メロウに楽しくまざり合いモヤモヤハッピー！！
- 血沸き、肉踊る祭りや蔵コンサート等、多様な楽しさを！
- 今日の楽しさは持続のエンジン！想像力のツバサ！
- 世界と人を変えるおもてなし、おもいやり、声かけあって
- イベントだけでなく日常的に多世代居場所づくり
- ハートにひびく美しいあたたかいカタチが美しいキモチ育くむ
- 具体的にまち使いたおし隊などのアクションをおこそう
- 区のキャラクターのキタッコ大冒険物語をつむごう！
- むずかしいトラブルをエネルギーに変えよう！トラブルたまりすぎたらトラベルへ！

また、それらのキーワードの頭文字をつなげて読む頭韻要約法を用いると「人・まち共生育くむ」となり、人を育むとまちが育まれるとまとめました。

最後に、次回講座の案内やアンケートの記入を行い、第1回の講座を終了しました。



延藤さんがまとめたまちづくりのキーワード

